

守り育てよう、「絆」と「母校」

緑友会会長 川本 正人



1620 の個人・団体から計 1059 万 7957 円。創立 70 周年に向け、2 年間に寄せられた浄財です。協力して下さる人財も集まり、食堂を改修した「みどりホール」が実現。記念公演でも、大衆演芸のプロとなった卒業生 9 人がトークショーを展開しました。

公立高校が軒並み定員割れとなる中、母校の人気の不動の背景には、卒業生 2 万 8552 人の厚みと、そこから母校に紡ぎ出された「絆」が確かにあります。本当に誇らしく、改めて皆様に敬意と謝意を表する次第です。

3 年前の会長就任時、大きな課題が 4 つ横たわっていました。①70 周年事業 ②紙で集めてエクセル保管という危うい名簿管理 ③自力編集できず危険サイトの警告まで出るホームページ ④会報発行のコスト増——です。緑友会活動とは全く無縁でいたおかげで、スタッフの真面目さ、熱心さとは裏腹に、会が「ゆでガエル」になりかねない状況がえってよく見えた気がします。

スタッフの理解は早く、同窓会システムによる電子名簿化、これを生かしたコンビニ決済の導入、ホームページの自力改修と情報発信などが進行。これらの相乗効果で、終わってみれば①②③が同時に解決していました。

残るは④の会報です。郵送費高騰と生徒減(入会費減)が進む中、全会員への郵送継続は会財政を破綻させます。持続可能にする道は、広報の電子化。「住所」をメアドに、「紙」をスマホやパソコンに置き換えていく方針です。

手始めに今春、ホームページを全面改修しました。動画を多用した発信と、会員からの投稿を活用した双方向の情報交流が特長。同窓会では例のないスタイルです。

「会員の絆」と「母校」を守り育てる取り組みは、まだ続きます。ご支援ください。



御家騒動を題材とした踊り「五段返し」



出演いただいた先輩演芸家への感謝の花束贈呈

ごあいさつ

大阪府立東住吉高等学校校長 西田 恵二



「文武両道をめざす『二兎を獲る』の理念のもと、人権意識とグローバルな視点を備え、高い志を抱いて社会に貢献する人物を育成する」…昨年(令和 6 年)7 月に公表された本校の「スクールミッション」です。国語・数学・英語というような教科・科目におけるいわゆる「学力」をつけることが、学校教育のベースであることに変わりはありません。しかしながら今は、課題発見能力やコミュニケーション能力、あるいは物事に対する積極性や粘り強さ等、これからの変化の激しい時代をしなやかに、また力強く生き抜くための人間力を育成することが真に求められています。「二兎を獲る」というこのモットーはまさにそのことの大切さを表しているように思えます。

本校では現在、体育祭や文化祭等の学校行事や国際交流、ボランティア活動、地域連携など各種教育活動を通して、知力に限らない様々な能力を育成しています。これらの活動は、本校において綿々と受け継がれてきた様々な取組みとその軌を一にするものです。これまで先輩方が築いてこられた伝統を礎としながら、これからも時代の要請にも応える全人教育に教職員一同全力で取り組んでまいる所存です。

緑友会の皆様におかれましては、昨年度の創立 70 周年に際し、同窓会館 1 階食堂の「みどりホール」への改修にあたり大きなご支援をいただきました。日頃から様々な場面においてご協力をいただいておりますことと併せまして、改めて厚く御礼申し上げます。今後引き続き本校の教育方針や活動内容についてご理解いただきますとともに、その充実、発展のため、変わらぬご支援、ご協力を賜りますよう、どうぞよろしくお願い申し上げます。

創立 70 周年記念式典の動画はこの QR コードから

YouTube 再生へ



◀ 式典第 1 部

式典第 2 部 ▶



校長発声による大阪締め